

岡山県蒜山原における坑井の物理検層報告

佐野 浚一 小谷 良隆

1. 坑 井

位 置 岡山県直庭郡川上村大森
 掘さく目的 花崗岩を基盤とする第四紀ないし第三紀
 層中のウラン鉱床の探査
 掘さく深度 118 m
 ケーシング 0~28 m 83 mm ケーシング
 28~90 m 73 mm ケーシング
 90~118 m 裸坑(ピット径 55 mm)
 水 位 117~118 m より溢水(360 l/min)
 泥水性質 省略

ぞれよるものと思われる。

S.P. の変化は認められない。(昭和33年12月調査)

2. 検 層

2.1 放射能検層

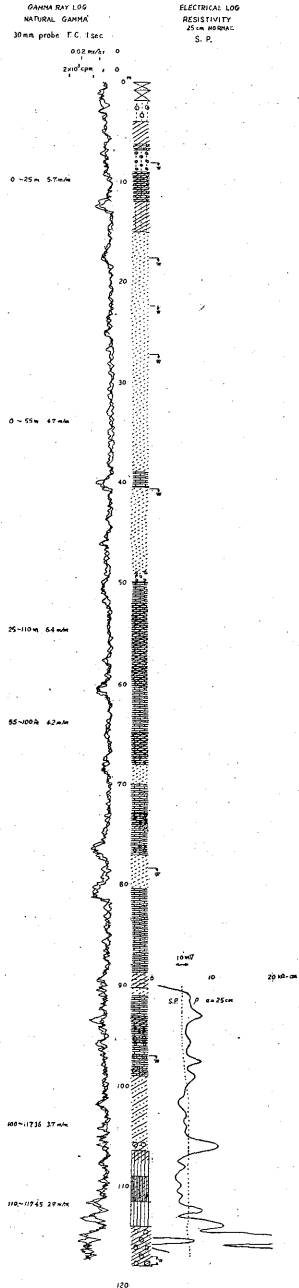
検層器 小型放射能検層器
 測定深度 0~117.45 m 深度基準 鉄管頭(地並より
 15 cm 上)
 測定条件 レインジ 3×10^3 cpm
 感度 7.5×10^4 cpm/ (mR/hRRa)
 時定数 1 sec 巻上速度 5.7~2.9 m/min

2.2 電気検層

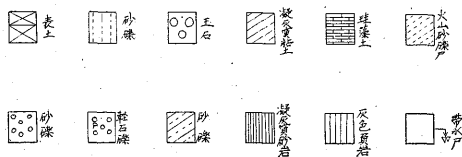
検層器 地質調査所型電気探鉱器
 測定深度 90~117.20 m 深度基準 同上
 測定曲線 S.P. および Normal 比抵抗
 測定条件 電極間隔 25 cm, 電流 11~24 mA
 巻上速度 ロッドを使用し 0.5 m 間隔で
 測定

2.3 測定結果

測定年月日 昭和33年12月19~20日
 検層図 第2図参照
 地質柱状図 試錐課伊藤吉助による(第1図・第2図)
 放射能異常 認めない
 その他 珪藻土層中ないし珪藻土層の境界附近お
 よび帯水層の附近において、放射能強度の高い部分が認
 められる。
 110 m 以深の高抵抗部分は、玉石礫(花崗岩礫・安山
 岩礫を含む)に、高放射能強度の部分は花崗岩礫にそれ



第2図 坑井名 蒜山原
 測定 33年12月
 深度 118 m



第1図 地質柱状図説明